

第22回鹿児島県立川辺高等学校東海同窓会総会報告

隔年ごとに行われる東海同窓会が、平成26年10月4日（土）名古屋市熱田区の「賀城園」で開催されました。本部同窓会からは東海同窓会の設立から関わってきた宮原楊子同窓会監事が、本校からは小屋敷浩昭校長先生と同窓会係中尾龍二（昭和52年卒）が出席しました。宮原楊子監事にとっては、12年ぶりの名古屋訪問となりました。

空港到着後、迎えに来ていただいた神野幹彦幹事長（昭和45年卒）の車で、腰を痛めて入院されている飯野布志夫会長（昭和26年卒）のお見舞いに行きました。会長も宮原幹事との久しぶりの再会を喜んでおられました。その場で、宮原監事から、母校へ寄贈された著作集と8月の本部同窓会総会時の著作集販売の収益金の寄付のお礼もありました。一日も早くお身体が回復し、お元気になられることを心からお祈りいたします。

その後、会場の「賀城園」に向かいました。今回の参加者は、我々3名を含めて12名での総会となりました。神野幹事長の進行のもと、会長に代わって挨拶された日置宏輔副会長（昭和33年卒）は、年を経るに従って参加者が少なくなっているが、この会を盛り上げていきたいと話されました。小屋敷校長先生からは、部活動や進路状況の報告があり、最後に、「学校はいつでも welcome です。今も日置先生の絵が飾られている母校を訪問し当時のたたくまいを感じてください」と締めくくりました。

総会に引き続き、懇親会に移り、川野武弘さん（昭和37年卒）の乾杯の挨拶の後、2年ぶりに再会したお互いの近況報告や当時の思い出話などに花を咲かせました。宴の途中では、顔が赤くならないうちに記念撮影も行われました。12時から始まった会はあっという間に予定していた時間を過ぎていました。

宴の最後に、参加できなかった大坪本部同窓会会長に代わり宮原幹事から、川辺高校はピンチをチャンスに変えつつあるときである。東海同窓会の皆様もお力添えを賜りたいという旨の話があり、2年ぶりに再会を果たした楽しい宴は閉会となりました。

最後に、貴重な時間を過ごさせていただきましたことに感謝し、ここに報告いたします。



開式の前から久しぶりの再会を喜び合う皆さん



川野さんの乾杯の挨拶



楽しい語らいは続きます。



酔っばらう前に記念写真撮影



かつての野球少年同士の掌の大きさ比べ



飯野会長の著作集を紹介する宮原監事と
神野幹事長



最後はやはり校歌斉唱です